

堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第2回アンケート調査 集計結果

令和7年12月10日から同年12月31日までの期間に、堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの権利をお持ちの方を対象に、堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第2回アンケート調査を実施しました。第2回アンケート調査の概要と集計結果は以下のとおりです。

<第2回アンケート調査の概要>

調査名：堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第2回アンケート調査

調査対象：堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの権利をお持ちの方

調査期間：令和7年12月10日（水）～12月31日（水）

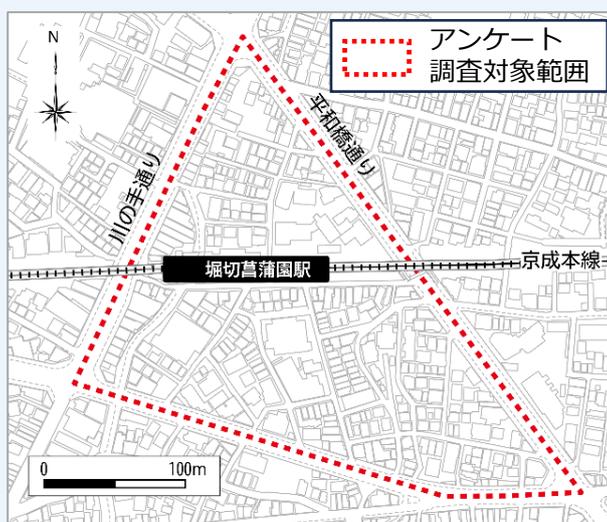
調査方法：郵送回収及び、Webによる回収

配布数：522部

回収数：郵送37部、Web28部、合計65部（回収率12.5%）

主な設問：●堀切菖蒲園駅周辺地区まちづくり計画（たたき台）における3つの取組方針と具体的な取組に対する意見

●まちづくりの推進体制に対する意見



<堀切菖蒲園駅周辺地区（アンケート調査対象範囲）>

■ 地区の将来像

下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり

災害に強いまちづくりを着実に進めつつ、堀切菘蒲園駅周辺のまちの特性を生かし、下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくりを推進するため、3つの取組方針を設定します。
「災害時の安全安心の確保に向けた**防災の取組**」「暮らしやすさや地域の魅力を向上させる**日常の取組**」の両立を図りながら、将来像の実現に向けてまちづくりを推進します。

【課題】

- 安全・安心なまちに向けた防災性の向上
- 歩いて楽しめる環境の向上、まちの魅力向上
- まちづくりへの参画と持続的な担い手の育成



方針1
ハード・ソフト両面からの防災まちづくり

燃えない・燃え広がらないまちに向けた建築物の建替えや安全な避難路の確保等とともに、防災活動の支援により災害時の消火や救助活動等の担い手確保につなげるなど、ハード・ソフト両面からの防災まちづくりを進める。

方針2
誰もが安全に歩いて楽しみ、快適に暮らせる環境づくり

建替えルールを活用した一体的な道路状空間の創出や歩行環境の改善により、駅から安全に楽しめる歩行ネットワークを確保するとともに、不燃化建替えに伴う建築物の省エネルギー化や細街路の拡幅により、快適に暮らせる環境づくりを進める。

方針3
多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりに向けて、多様な主体との連携により地域課題の解決や魅力向上を図る仕組みや、公共空間の活用促進など、人々がまちづくりに参画し交流できる環境づくりを進め、互いに支え合うまちを目指す。

防災街区整備地区計画、不燃化促進、建築物の共同化

■ 対象：駅周辺地区

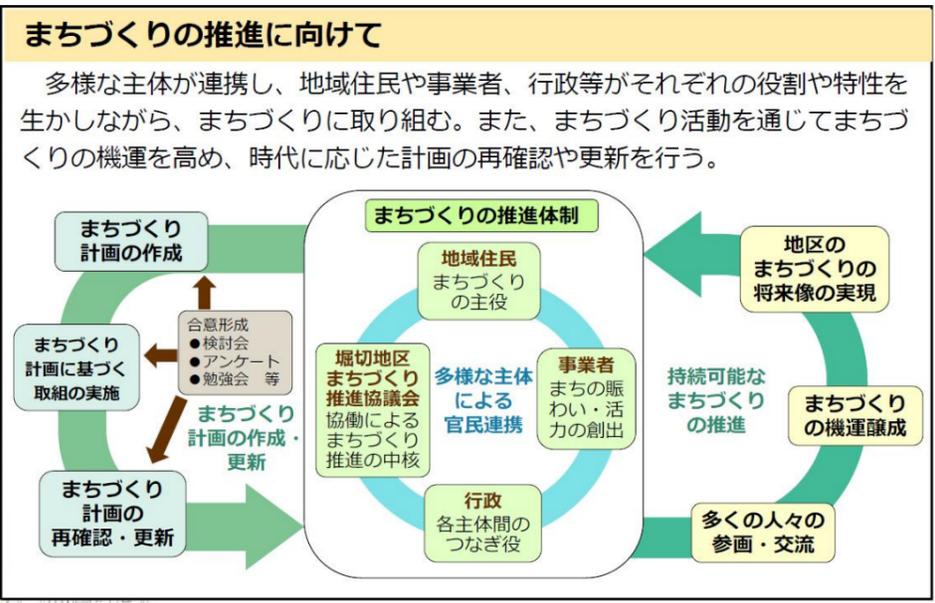
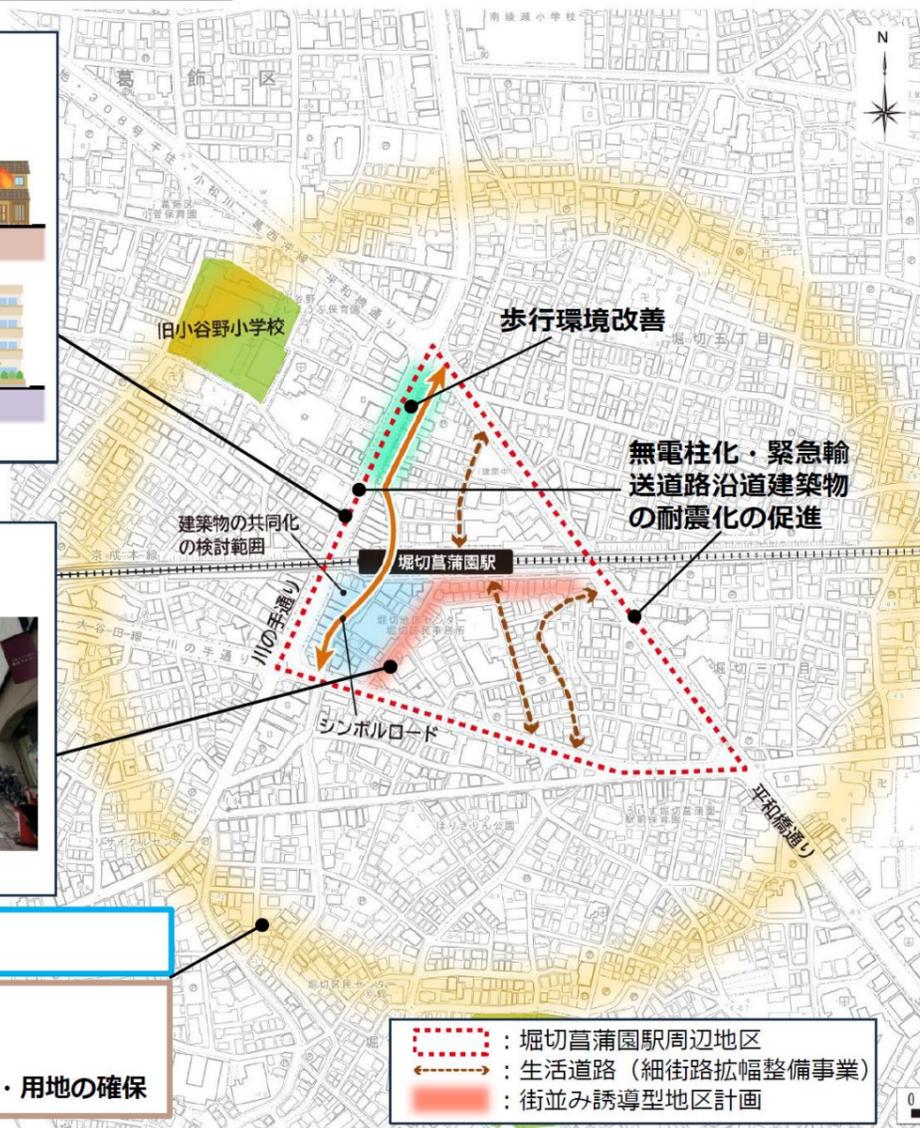
- 避難路の位置づけや建築物の防火規制、敷地面積の最低限度など
- 建築物の耐震化・不燃化建替えや老朽建築物の除却への助成など
- 共同建替えによる防災性の向上や広場空間の創出など

街並み誘導型地区計画、細街路拡幅整備事業

■ 対象：景観づくりゾーン（街並み誘導型地区計画）

- 一定条件下で道路斜線を緩和し、限られた道路幅員での建替えの誘導や壁面後退により、道路状空地の創出と沿道の建築物の建替えを一体的に推進
- 建替え等に合わせて最低限の道路幅員を確保

- 防災意識の啓発活動**
- その他の取組**
- まちづくり活動の促進
 - 地域の魅力向上・発信
 - まちづくりの担い手育成
 - バス・タクシー乗り場・用地の確保



住民主体のまちづくり推進体制の構築

■ 対象：堀切地区全域

広場空間の創出など地域課題の解決となり、かつ誰でも気軽に参加できる仕組みづくりにより、地域課題を解決しつつ地域交流の推進や仲間づくりを推進

●まちづくり計画（たたき台）での3つの取組方針に基づく具体的な取組

方針1 ハード・ソフト両面からの防災まちづくり

燃えない・燃え広がらないまちに向けた建築物の建替えや安全な避難路の確保等とともに、防災活動の支援により災害時の消火や救助活動等の担い手確保につなげるなど、ハード・ソフト両面からの防災まちづくりを進める。

目標

- ・建築物の不燃化建替え
- ・避難路のネットワーク形成
- ・地域コミュニティの醸成

取組

- ・防災街区整備地区計画
- ・不燃化促進
- ・建築物の共同化
- ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進
- ・防災意識の啓発活動

主な効果

- ・火災による建物延焼の防止・抑制
- ・安全な避難路やオープンスペース、ゆとりある敷地規模の確保
- ・災害時の助け合いによる地域防災力の向上

方針2 誰もが安全に歩いて楽しみ、快適に暮らせる環境づくり

建替えルールを活用した一体的な道路状空間の創出や歩行環境の改善により、駅から安全に楽しめる歩行ネットワークを確保するとともに、不燃化建替えに伴う建築物の省エネルギー化や細街路の拡幅により、快適に暮らせる環境づくりを進める。

目標

- ・道路状空間の確保
- ・平時・災害時の歩行環境改善

取組

- ・街並み誘導型地区計画
- ・細街路拡幅整備事業
- ・歩行環境改善事業
- ・無電柱化
- ・防犯カメラの設置
- ・バリアフリー対策

主な効果

- ・歩行環境の安全性や景観の向上
- ・住環境の安心・安全性や快適性の向上

方針3 多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりに向けて、多様な主体との連携により地域課題の解決や魅力向上を図る仕組みや、公共空間の活用促進など、人々がまちづくりに参画し交流できる環境づくりを進め、互いに支え合うまちを目指す。

目標

- ・商店会や事業者等の多くの方々が参画し交流できる環境づくり
- ・地域の魅力向上・発信の仕組みづくり

取組

- ・住民主体のまちづくり推進体制の構築

主な効果

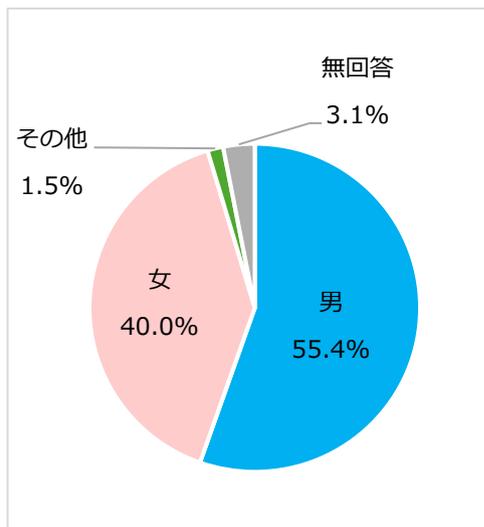
- ・掘切らしさ、地域アイデンティティの形成
- ・まちづくりへの機運醸成、参画意識の向上
- ・持続可能なまちづくりの体制構築

< 集計結果 >

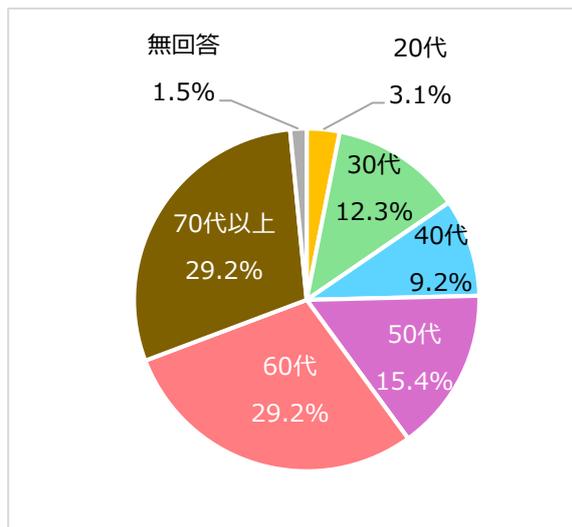
回答者の性別・年齢について

性別は男性が 55.4%、女性が 40.0%、年齢は 60～70 代以上で回答者の 50%以上を占めています。

【性別】



【年齢】

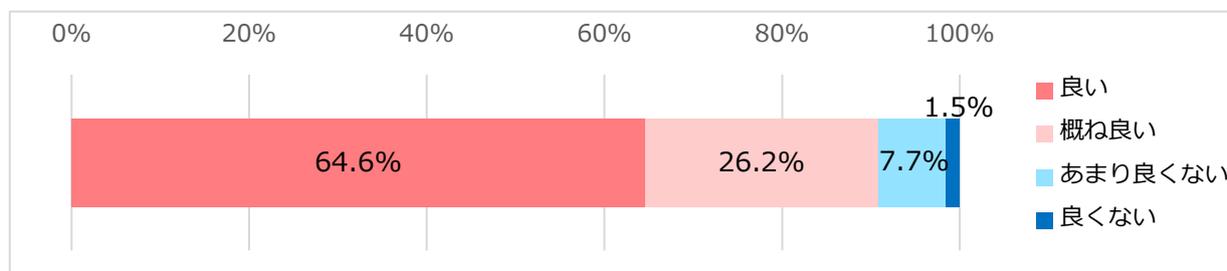


問1 3つの取組方針について

問1-1 方針1について、どのように思いますか。(1つだけに○)

方針1 ハード・ソフト両面からの防災まちづくり			
燃えない・燃え広がらないまちに向けた建築物の建替えや安全な避難路の確保等とともに、防災活動の支援により災害時の消火や救助活動等の担い手確保につなげるなど、ハード・ソフト両面からの防災まちづくりを進める。			
			
建替え助成や建築物の防火規制等により、燃えにくい建築物への建替えを推進	複数の建物から共同住宅への建替えにより、防災性の向上と広場空間を創出	地域での防災訓練等により、地域のつながりを育み、日頃から防災意識を向上	
1. 良い	2. 概ね良い	3. あまり良くない	4. 良くない

方針1について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が90.8%となっています。



問1-2 問1-1の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

○良いと思う意見

防災・安全性の向上を挙げる意見が最も多く、**まち全体での老朽化した建物の建替えや延焼の防止**等が望まれています。

○取組推進に係る意見

住民との合意形成や費用面、役割分担やスケジュールの明示等が挙げられており、まちづくり計画や計画策定後の取組の実施段階において、適切なタイミングでこれらを示し、合意形成に活かしていくことが望まれています。

○共同建替えに係る意見

防災性の向上や広場の創出を評価する一方で、**共同住宅によるコミュニティの希薄化や、新たな居住者が増えることに懸念**が見られるため、共同建替えに当たっては、建替えによる安全性向上と合わせて、新旧住民の顔の見える関係づくりを合わせて進めていくことが望まれています。

○住宅と商業の調和に係る意見

建替えの進行にあたり**住宅が増え、店舗が減少することへの懸念**が挙げられており、建替え後も一定程度の商業機能が確保されるよう、今後の地区計画等での対応の検討が望まれます。

問 1-3 方針 2 について、どのように思いますか。(1つだけに○)

方針 2 誰もが安全に歩いて楽しみ、快適に暮らせる環境づくり

建替えルールを活用した一体的な道路状空間の創出や歩行環境の改善により、駅から安全に楽しめる歩行ネットワークを確保するとともに、不燃化建替えに伴う建築物の省エネルギー化や細街路の拡幅により、快適に暮らせる環境づくりを進める。



壁面後退により、ベンチや植栽等を置くなど、道路と一体的に活用できる空間を創出



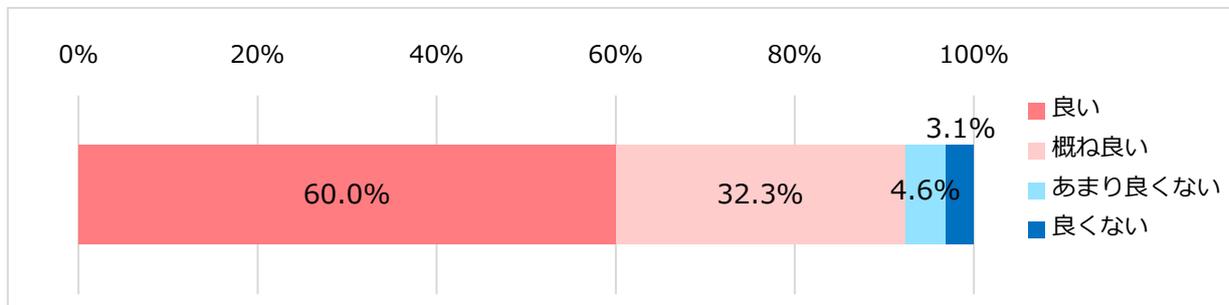
まちのシンボルロードとなる快適な歩行空間の形成



建替え等に合わせて、最低限の道路幅員 4m を確保

1. 良い 2. 概ね良い 3. あまり良くない 4. 良くない

方針 2 について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が 92.3% となっています。



問 1-4 問 1-3 の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

○道路空間に係る意見

道路に係る意見は最も多く、安全性向上のための狭い道路の拡幅のほか、駅利用者が多いので**広さや明るさへの配慮**、歩行者だけでなく自転車の通行空間の確保、**壁面後退による快適性の高い空間づくり**といった意見が挙げられており、まちづくり計画の方針・取組等への反映が望まれます。

○道路空間の利活用に係る意見

ベンチの設置による**ゴミや治安悪化への懸念**が挙げられており、今後のイベント等の企画を行う際に、対応を検討していくことが望まれます。

○安心なまちづくりに係る意見

照明の暗さ等が挙げられており、まちづくり計画の方針・取組等への反映が望まれます。

○取組推進に係る意見

合意形成や取組の実現性、ターゲットの絞り込みといった意見が挙げられており、権利者の意見を聞きながら、対応していくことが望まれます。

門・フェンス等の外構部の扱いには、地域特性を踏まえたルールづくりが望まれます。

問1-5 方針3について、どのように思いますか。(1つだけに○)

方針3 多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりに向けて、多様な主体との連携により地域課題の解決や魅力向上を図る仕組みや、公共空間の活用促進など、人々がまちづくりに参画し交流できる環境づくりを進め、互いに支え合うまちを目指す。



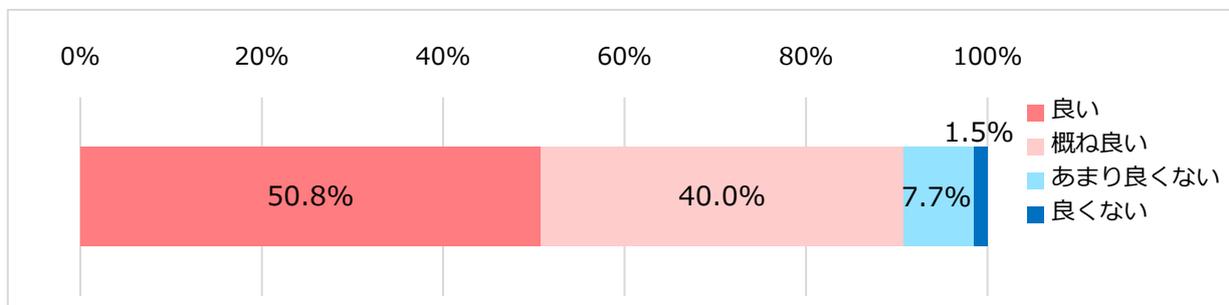
道路空間を活用した広場づくりなど、地域の課題を解決し、楽しく参加できる活動を推進



花植えイベントなど、誰でも気軽にまちづくりに参加できる仕組みにより、仲間づくりを推進

1. 良い 2. 概ね良い 3. あまり良くない 4. 良くない

方針3について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が90.8%となっています。



問1-6 問1-5の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

○地域活動やイベントの実施に係る意見

コミュニティの醸成や意識の向上につながるため、前向きな意見が多いほか、**多様な世代や新旧住民の交流が期待**されており、多様な世代が気軽に参加できるよう、今後のイベント内容の企画に活かしていくことが望まれます。

○広場や活動空間に係る意見

区民センターや駅周辺での整備が挙げられており、今後の広場の創出にあたっての検討に活かしていくことが望まれます。

○良くないと思う意見

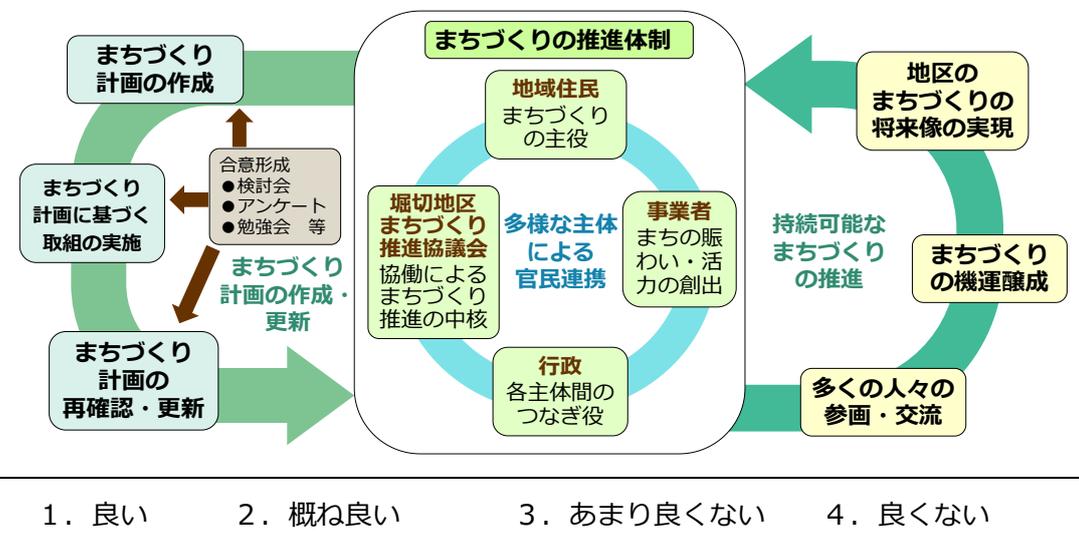
人が増えることへの懸念が挙げられており、地域活動・イベントの企画・実施等を通じて、快適な暮らしの環境と共存可能なにぎわいの程度を探りつつ、**住民や参加者間で顔の見える関係づくり**を行っていくことが望まれます。

問2 まちづくりの推進に向けて

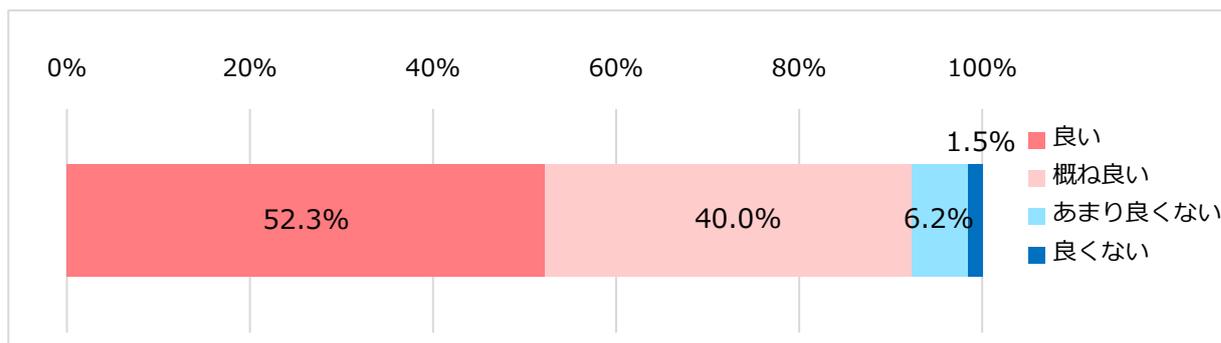
問2-1 まちづくりの推進体制について、どのように思いますか。(1つだけに○)

まちづくりの実現に向けては、地域課題の解決や地域交流を重視した多様な主体が連携し、地域住民や事業者、行政等がそれぞれの役割や特性を生かしながら、まちづくりに取り組むことが求められる。

また、まちづくり活動を通じてまちづくりの機運を高め、時代に応じた計画の再確認や更新を行うことで、持続的な発展を図る。葛飾区では、地域に関わる多様な主体と連携し、将来像の実現に向けた具体的なまちづくりを推進していく。



推進体制について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が92.3%となっています。



問2-2 問2-1の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

○官民連携によるまちづくりに係る意見

官民連携によるまちづくりの推進体制に期待する意見が多く挙げられる一方で、堀切地区まちづくり推進協議会の役割に言及する意見もあり、各主体の役割分担を明確にしつつ、**堀切に合った推進体制の検討**が望まれています。

○取組推進に係る意見

早期の取組実現を望む意見が多く挙げられています。

○取組の必要性や進捗状況の周知に係る意見

住民を含めた関係者が理解できるよう、**分かりやすい情報発信・周知方法の検討**が望まれています。

＜ 自由回答 ＞

問1 3つの取組方針について

方針1 ハード・ソフト両面からの防災まちづくり

問1-1 方針1について、どのように思いますか。(1つだけに○)

1.良い 2.概ね良い 3.あまり良くない 4.良くない

問1-2 問1-1の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

■ 良いと思う回答者(59票)の意見

・ 防災・安全性の向上に関する意見

ご意見	年代
密集地だと延焼していつてしまうため、助成をいただきながら、街全体で防火耐性のある建築物になれば良いと思うから。	20代
もしも火事が起きた時に被害を最小限に抑えて欲しい。	20代
古い建物が多く火事や震災への不安が大きい。	30代
スナックが多い通りや飲食店が並んでいる通りの建物はかなり古く、災害があった時は不安である。	40代
駅周辺は建物が古く雑然としている様子なので、建築物の不燃化建替えや、ゆとりある敷地、スペース確保はとても良いと思う。	40代
両方あって、なりたつ。	50代
このエリアは大規模地震が発生すると広域に延焼が発生すると指摘されているエリアであり、このような取組は必須であると考え。	60代
まちづくりの前提として防災は重要だと思うから。	60代
安全面	60代
老朽化した家が多いので、災害・火事への対策は必要。	60代
安全で住み易いまちづくりに共感。	60代
地域での防災訓練等により、地域のつながりができるため。	70代以上
防火対策は近々の課題である。	70代以上
安全第一	70代以上
不燃化や道路拡幅は駅周辺地区に限った課題ではないが、第2回検討会資料にもあったように、駅周辺は狭隘道路、建築物の老朽化、木造住宅の密集と特に防災性が低く、人命に関わる課題であるため、まずはハード面の整備が必須であると考え。	無回答

・ 取組推進に向けた留意事項(財源、優先順位、合意形成等)に関する意見

ご意見	年代
考え方としては概ね良いと感じたが、実際にどの程度進むのかは今後の取組を見ていきたいと思う。	40代
防災のまちづくりに異論はないから。ただし、両面において、行政と関係住民のコンセンサスが重要に思う。	50代
葛飾区や国が負担する費用(助成金)や個人の負担となる費用について、詳しく書かれているととても良い。	60代
建築物の不燃化など、1人では出来ない取組に期待しています。	70代以上

・共同建替えによる地区への効果・影響に関する意見

ご意見	年代
共同住宅にする事により、空いたスペースをメイン広場にし、盆踊り、餅つき、季節の街ぐるみのイベント増やし、地域を活性化することができる。	50代
共同住宅ばかりになるのは違和感を感じるが、燃え広がらないことは大事だと思う。	50代
古い建物や空き家物件も見かける。何かあった時の責任の所在が明確になっているか不安。共同住宅への建替えを望む。	60代
道を広くし整備するためには、小さな住宅やアパートは大きな共同住宅に移転しなければ、街を出ていく人が生まれてしまう。	70代以上
高層共同住宅があり、低層には商業店舗を備えて広場も考えてあり良いと思う。	70代以上

・住宅と商業が調和するまちづくりに関する意見

ご意見	年代
防災対策に関しては賛成だが広い土地に住宅ばかりが建ち、買い物や飲食店が少ない。	30代
新しいスーパーを駅近に誘致してほしい。	30代
高層共同住宅があり、低層には商業店舗を備えて広場も考えてあり良いと思う。	70代以上

・その他の意見

ご意見	年代
この地区に限った取組ではないはず。これからの将来像については、若い方に任せたい。	50代
特に問題があるとは思わない。	60代

■ 良くないと思う回答者（6票）の意見

・取組推進に向けた留意事項（財源、優先順位、合意形成等）に関する意見

ご意見	年代
記述内容が漠然としており、どうしたいのかわからない。その上、誰がいつまでやるのかに全く触れていない。時間ばかりが過ぎて具体的な変化が見えない。	60代

・共同建替えによる地区への影響に関する意見

ご意見	年代
共同住宅により人が増えるのは抵抗がある。	30代
共同住宅は、近隣とのコミュニケーションが取りづらい。	60代
良い悪いではなく、良くわからない…が近いと思う。災害が多くなっている最近、防火防犯対策はとても大切だと思うが、共同住宅が増える事で繋がりのあった近所の関わりが薄くなるのではとも思う。	60代

方針2 誰もが安全に歩いて楽しみ、快適に暮らせる環境づくり

問1-3 方針2について、どのように思いますか。(1つだけに○)

1.良い 2.概ね良い 3.あまり良くない 4.良くない

問1-4 問1-3の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

■良いと思う回答者(60票)

・道路空間の安全性の向上に関する意見

ご意見	年代
歩道が狭く危ないところがあるため。ベビーカーや車椅子が通りにくい道がある。	20代
普段の生活の利便性の向上と、災害面での安全も確保できるから。	20代
帰宅ラッシュ時はかなりの人数が駅前に集中するので段差や広さ、明るさに配慮していただければと思う。	30代
車が通ると自転車・歩行者が通れなかったりする場所がほとんどで、曲がり角も狭く救急車なども入れなくなっているため。	40代
狭い道路が多すぎるから。	50代
車の入れない路地もあるが、そのままを残して頂けると、もう少し安心して歩けると思う。堀切近辺は道がまっすぐでない事が多く難しいと思うが、抜け道の様に細い道をスピードだして通られるとドキドキする。	60代
防災の観点より道路幅員4m以上を望む。	60代
道路の幅員4mの確保は必要。	70代以上

・道路空間の快適性の向上に関する意見

ご意見	年代
普段の生活の利便性の向上と、災害面での安全も確保できるから。	20代
「道」を重視しているため。	60代
快適かつ高齢者にやさしいと思う。	60代
建替ルールを活用した一体的な道路状空間の創出や歩行環境の改善により、快適に暮らせる環境づくりは大事と考える。	70代以上
現在の道は碁盤の目のようにはなっておらず、初めての方が歩いたら、どこへ行ってしまうかわからない。地図を見ても真っすぐ先が見える様な道になったら良いと思う。	70代以上
大通りから入った道路は最低限の4m拡幅にとどまってしまうと思われるが、建築物の壁面後退で空間を広く見せることは必要だと考える。	無回答

・まちの魅力向上に関する意見

ご意見	年代
壁面をそろえたりシンボルロードを作ると、綺麗な街並みとして印象を与えるので良いと思う。	40代
魅力あるまちづくりに必須であると考えます。	60代
町のシンボルロードにより、美しい町にする。	60代

・安心なまちづくりに関する意見

ご意見	年代
ガード下など夜間照明の暗い箇所が有り、気になっている。	50代
特に防犯カメラ設置は急務だと思います。安心して暮らせる町に。	70代以上
絶えず人の眼が届くようなので環境が良い。	70代以上

・取組推進に向けた留意事項（財源、優先順位、合意形成等）に関する意見

ご意見	年代
考え方としては概ね良いと感じる。ただし、実際にどの程度進むのかは今後の取組を見ていきたいと思う。	40代
安心して暮らせる環境づくりに異論はないが、上記と同様にコンセンサスが重要。	50代
どの程度の経費が必要なのか分からないが…良いと思う。	60代
できれば理想的だが、実現性に問題があると思う。	60代
店舗が多いので建替には多くの課題があるが、今までの経緯を見ても今が決断の時では。	70代以上
実施できそうなターゲットを絞り込んで、推進していく必要があると思う。	70代以上
狭小土地が多いので、門扉やフェンス等の工作物は除かないと地域住民の理解が得られないのではないかと考える。	無回答

・その他の意見

ご意見	年代
この地区に限った取組ではないはず。これからの将来像については、若い方に任せたい。	50代
誰もが思っていること。	70代以上

■ 良くないと思う回答者（5票）の意見

ご意見	年代
歩行も大事だが自転車の走行空間を広くしてほしい。どこも狭く走りづらい。	30代
ベンチの設置により飲酒を含めた飲食から出るゴミ問題や治安悪化が考えられる。	50代
このままで良い。	60代

方針3 多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

問1-5 方針3について、どのように思いますか。(1つだけに○)

1.良い 2.概ね良い 3.あまり良くない 4.良くない

問1-6 問1-5の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

■ 良いと思う回答者(59票)の意見

・地域活動の実施、コミュニティの醸成に関する意見

ご意見	年代
交流できる機会を設けることで、全体の意識の向上につながっていくと考えるから。	20代
清掃活動とかもあった方がいいと思う。参加する人がいるのかはわからないが。	30代
地区センターでのイベントやラッキー通りでのイベントは子どもも楽しく参加させていた。良い取り組みだと思う。	30代
イベント開催はまちおこしの一つとして考えている。	60代
駅→菖蒲園辺りの祭りや、水辺公園土手のイベント等、いろいろなイベントが多くなっているの、増やすのは大変だと思う。今あるものをアピールし、少しずつ広げていけたら良いのではと思う。	60代
イベントなどをやるのは良いと思う。	60代
活力あるまちづくり。	60代
花植えイベントなど、是非参加してみたい。	70代以上
コミュニティが出来て、生活することは素晴らしいと思う。	70代以上

・多様な世代の参画・交流に関する意見

ご意見	年代
年代的に住民の入れ替わりや、新しい世代が増加してきているので、住民主体の街づくりは良いと思う。	40代
老若男女問わず気さくに語り合える機会がありましたら嬉しい。	50代
高齢者が多い町だと思われるので、若い人に住んでもらう事が必要。	60代
若い世代を引きつけるには必要であると思う。	60代

・持続可能な体制づくりに関する意見

ご意見	年代
持続不可能では困るから。	50代
多くの人々の参加・仲間づくりを目指している所が良い。	70代以上
住民の関心がどの位なのか、町会の衰退も心配。	70代以上
持続可能なまちづくりは、地域住民主体の体制構築が必須であるため、行政、民間事業者でサポートしながら環境づくりを進めていかなくてはならないと考える。	無回答

・具体的な取組イメージに関する意見

ご意見	年代
考え方としては概ね良いと感じた。ただ、参加したことはないのによくわからない。	40代
あまりピンとこない。	50代
理想とするところではあるが、具体的なイメージがわからない。	50代

・ **広場・活動空間の整備に関する意見**

ご意見	年代
活気がある街並みとは言えないが、病院など充実した施設があり、子ども・高齢者が安心して来られるスペースがあると良いと思う。	40代
堀切菖蒲園駅を中央改札にして、駅前中央広場を造って欲しい。	50代
区民センターの位置が分かりづらい。スーパー（赤札堂）から区民センター周辺を広場化できないものだろうか。防災の観点からも区民センターへの動線は必須である。	60代

・ **取組推進に向けた留意事項（財源、優先順位、合意形成等）に関する意見**

ご意見	年代
どの程度の経費が必要なのか分からないが、良いと思う。	60代
是非実施できる所を見つけて、ブレイクダウンした計画を作り、PDCAを実施していくのも方策かと思う。又、方針1と2より取組みやすいまちづくりだと考えているので、早期にできることを期待する。	70代以上

・ **その他の意見**

ご意見	年代
商店街で一通り生活必需品が揃うようにしてほしい。あと新しいスーパーを駅近に誘致してほしい。	30代
最近問題視されている民泊の場所が増えてきているので、治安の問題なども考慮しながらの街並みを望む。	40代
多分に理想的。	70代以上

■ **良くないと思う回答者（6票）の意見**

ご意見	年代
人が増えそうな取組には抵抗がある。	30代
駅近の為にすっきりしていない。	70代以上

問2 まちづくりの推進に向けて

問2-1 まちづくりの推進体制について、どのように思いますか。(1つだけに○)

1.良い 2.概ね良い 3.あまり良くない 4.良くない

問2-2 問2-1の回答について、その理由を教えてください。(自由回答)

■ 良いと思う回答者(60票)の意見

・行政、事業者、住民が連携したまちづくりに関する意見

ご意見	年代
活動に参加しやすい環境を作っていただき、暮らしやすい街づくり、堀切をもっと発展させてもらえたらと思う。	30代
公私一体となった推進体制がまちづくりには必要だと思う。	60代
地域住民や事業者、行政との連携なくしてまちづくりはならず、と考えている。	60代
このまちづくり推進体制は重要。是非、実現に向けて活動してほしい。	70代以上
地域住民・行政・事業者・協議会の推進体制が心強い。	70代以上
官民連携があるのが良い。	70代以上
地域住民主体で連携しながら持続的なまちづくりを進めていくためには、地域住民、行政、民間事業者のそれぞれの役割を明確にすることが必須であると考えます。	無回答

・取組推進に向けた留意事項(財源、優先順位、合意形成等)に関する意見

ご意見	年代
堀切菖蒲園駅の線路架け替えもやっているが、街づくりには相当な時間がかかると思うが、周辺に住んでいる人との交渉もあると思うが早めに動く必要がある。	40代
実施が可能な環境になったら、基幹を広報して頂き進めていただきたい。	60代
すべて必要なことだと思う。	60代
賑わいと活力のあるまちづくりを早期実現してほしい。	60代
安全で住みやすいまちづくりの推進を期待している。	70代以上
早期の実現を期待する。	70代以上

・取組の必要性や取組状況の周知に関する意見

ご意見	年代
アンケートの文章、ポンチ絵、もう少しわかりやすくしてほしい。	30代
考え方としては概ね良いと感じたが、実際の取組状況が見えにくい。	40代
まちづくりについて、色々と考えて頂けているのが伝わるので。	40代
時代の趨勢に応じていくことは非常に重要だと思う。一方で、なぜこの計画を進めていく必要があるのかという根本を、区民や関係者にしっかり理解してもらうことも重要だと思う。それがわからなければ、将来像は成立しえない。	50代

■ 良くないと思う回答者（5票）の意見

・取組推進に向けた体制や財源に関する意見

ご意見	年代
推進するためにはお金が必要である。今後も人件費や物価が高騰していくと思われる中、課題が多いと思う。	50代
堀切地区まちづくり推進協議会は住民や行政、間接的に事業者が一体となり組織化されているため、協議会が当初目的を踏まえ、より具体的に機能すれば新たに推進体制を考える必要はないと思う。	60代

・その他の意見

ご意見	年代
何をどう進めているのか進捗が分からないため、「見える化」が必要。	60代
まちづくりの推進はいいが、今の暮らしのままがいい。	60代